

高精度特定計量器の 開発及び 型式承認取得

近年取引顧客から、計量器の精度をシビアに求められるようになった。この要求に応えるために高精度特定計量器を開発し、厳しい検査基準を満たす必要がある型式承認の取得を目指した。正確さを保証する高精度の荷重伝達機構を製作するために、研磨機や計量器を導入。完成した試作モデルは、無事に国内初の型式承認を取得し、様々な企業からの受注に至った。



01 取り組みの経緯

当社は国内唯一の高精度台秤製造メーカーとして、安全で信頼性が高い計量器の開発を行ってきたが、消費者のニーズの変化とともに市場の要求は年々高くなっている。さらなる適正計量・適正取引を可能にする計量器が求められるようになったことから、高精度特定計量器の開発及び、型式承認の取得が急務であると考えた。特定計量器とは重量で値段が決まる物の重さを測る計量器。特に高い精度を求められるため、新たな設備を導入することにした。

02 実施内容

開発に必要な設備として、「汎用工具研削盤」「分銅校正用質量コンパレータ」「高速/微速切換式 天井クレーン」「特級基準分銅」を導入した。選定→発注→導入→設置→性能検査の順に行い、高精度特定計量器に必要な新たな高感度荷重センサーユニットについては、パートナー企業である新光電子(株)から供給を受けた。当社では導入した汎用工具研削盤を使用し、計量器の正確さを左右する、高精度の荷重伝達機構の開発に取り組んだ。



03 成果

汎用工具研削盤により、荷重伝達機構の先端エッジ部の鋭利性及び表面仕上げ精度などが向上した。これにより高精度の荷重伝達機構が完成し、高精度特定計量器の試作モデルの開発に成功。導入した特級基準分銅や、分銅校正用質量コンパレータなどで精度を検査し、国立研究開発法人産業技術総合研究所へ型式承認を申請。2018年に無事に承認された。その後大手企業から受注もあり、当初の目標に達したと言えるが、さらに知名度と精度を高めていく。



メカ式の計量器にこだわり続け、 国内随一の技術力を持つ企業に成長。

電子式よりも精度が高いメカ式の計量器を開発・製造しているのは国内で当社だけ。ユーザーの要望に個別に対応できるのも強み。取引顧客は、高価な材料を使用し、微かな計量の狂いが大損失を生む大手企業が多いが、リピート率も高い。これから計量器の生産力を高めるために、外注している部品を内作できる体制を整えていく予定だ。

代表者メッセージ



取締役
大岡 禎昭

高精度に特化した計量器で、 さまざまな業界・業種の 「一歩先のものづくり」に貢献

当社は創業以来、計量器の精度向上を目標に掲げ、商品開発を進めてきました。大手企業を中心に全国に納入展開し、お客様の商品開発や製造工程の改善及び適正計量等への取り組みに貢献しています。独自の技術とノウハウの蓄積によって生まれた計量器は高い信頼と評価を得ておりますが、新商品開発や商品改善にも日々努めています。「はかる」への高い要望を、納得させられる計量器の製造を目指し、一歩先行く提案を届けていきます。

企業情報

所在地	香川県高松市朝日町4丁目32-10
TEL	087-823-6655
設立	2009年11月
代表者	大岡 富美子
業種	業務用機械器具製造業
従業員数	6名
事業内容	計量器製造販売